

平成28年度事業計画

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

平成28年度事業計画 目次

I. 基本方針

II. 事業

1. 鳥類等の野生生物保護及び自然保護の精神を育成するための普及啓発活動
 - (1) バードピア推進事業
 - (2) 愛鳥週間関連事業
 - (3) 普及啓発事業

2. 鳥類等の野生生物保護に関わる調査研究事業
 - (1) 基金事業
 - (2) 自主調査・研究事業
 - (3) 受託事業

3. 鳥類保護の国際協力に関する事業
 - (1) リトアニアとの協力事業
 - (2) 日露渡り鳥保護協力事業

4. 鳥類等の野生生物保護に関わる個人及び団体の功労の表彰に関する事業
 - (1) 功労者表彰
 - (2) 第51回全国野生生物保護実績発表大会

5. 組織、運営の拡充に関する活動及び事業
 - (1) 機関誌「私たちの自然」
 - (2) 支部報
 - (3) ホームページ・連盟案内
 - (4) 活動P R

I. 基本方針

平成28年度においては、基盤ができつつあるものをさらに充実させながら、以下の項目においてその経営基盤の強化を図っていく。

1. 従前の公益に資する事業を継続して行いながら、調査・研究事業、普及啓発事業をより一層連盟として特色あるものとなるよう、調査研究の開拓や普及啓発用教材開発と普及を進めていく。
2. 現状において、会員の高齢化が進み、会員の減少に伴う会費収入の減少傾向が止まらない中、将来に向けてより一層幅広い年齢層へ連盟の魅力ある活動を発信し、会員獲得を目指していく。
3. 調査・研究をより進めるための助成金等の獲得においては、従来からの国内企業のみならず国外企業に対しても、今までの実績を十分活かしながら助成金申請を進めたい。

II. 事業

1. 鳥類等の野生生物保護及び自然保護の精神を育成するための普及啓発活動
 - (1) バードピア推進事業
バードピアマニュアル、ホームページ等を活用して、団体や個人登録者を増やしていくとともに、登録者への普及啓発を推進する。
 - (2) 愛鳥週間関連事業（愛鳥週間 平成28年5月10日～5月16日）
 - ① 第70回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」
平成28年5月15日（日）に神奈川県小田原市において、環境省との共催により開催する。
 - ② 平成29年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール
愛鳥週間用ポスターの原画を募集し、連盟総裁賞他各賞を選定する。
 - ③ 愛鳥週間関連各種普及啓発行事
自然観察会、探鳥会、愛鳥ポスター展示及び表彰等、普及啓発のための行事を本部、支部で開催する。

(3) 普及啓発事業

- ① 『ヒナを拾わないで!!』ポスターキャンペーン
関係2団体と連携してポスターを作成、配布する。
- ② 全国一斉テグスひろい
5月1日から10月31日の間で実施し、結果を機関誌、ホームページに掲載する。
- ③ 巣箱架け
巣箱の組み立て、架設を親子で行う巣箱教室や、巣箱架けに関するイベントを実施する。
- ④ 探鳥会、自然観察会等
子どもをはじめ一般の参加を募り探鳥会、自然観察会・体験活動やツバメ等の一斉調査などを実施する。
- ⑤ 普及教材の販売及び開発
企業と共同開発した野鳥用の餌のバードピア事業と併せ販売を拡大するとともに、給餌時期、方法などについて普及啓発活動を併せて行う。また、ピンバッジ、音声再生・録音ペン等の既存の普及教材の普及拡大及び教材の改良を推進する。

2. 鳥類等の野生生物保護に関わる調査研究事業

(1) 基金事業

次項の自主調査・研究事業の一部を、鳥類保護・共生推進基金、シマフクロウ等希少鳥類保護基金を使って実施する。

(2) 自主調査・研究事業

① コアジサシの調査研究

以下のコアジサシの調査・研究をコアジサシ研究センター（以下、センター）で実施する。

1) 三井物産環境基金（研究助成）による助成事業

平成28年度から3カ年の助成が決まったため、センターとして調査を実施する。

- 2) 科学研究費助成事業（科研費）による助成事業
センターの研究者が科研費の助成金を受けたため、センターとして調査に協力・実施する。
 - 3) リトアニア教育大学とのリトアニアにおける共同研究事業
平成 28 年度は過年度にコアジサシに装着したジオロケーターを回収するほか、新たに GPS の装着も検討する。
- ② シマフクロウ保護のための活動
「シマフクロウ等希少鳥類保護基金」を活用するため、シマフクロウへの給餌及び保護に関する情報収集等を釧路支部と協同で実施する。
 - ③ ワカケホンセイインコの調査研究
ワカケホンセイインコの分布に変化が見られ始めている。新しいねぐらについては捜索中ではあるが、今後も動向を把握するために調査を実施していく。

(3) 受託事業

サントリーホールディングス株式会社からの天然水の森の鳥類調査をはじめとして、鳥類調査等を受託し実施する。受託事業は積極的に行うことを検討する。

3. 鳥類保護の国際協力に関する事業

(1) リトアニアとの協力事業

コアジサシの調査・研究事業に加えてリトアニアでのツアー等、観光事業にも協力し、自然保護の基盤づくり及び保護思想の普及啓発に寄与することを検討する。

(2) 日露渡り鳥保護協力事業

ロシア科学アカデミーとの渡り鳥の保護に関する協力及び青少年交流を富山県支部で実施する。

4. 鳥類等の野生生物保護に関わる個人及び団体の功労の表彰に関する事業

(1) 功労者表彰（第70回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」）

環境省との共催により、野生生物保護等に功労のあった個人・団体を表彰する。

(2) 第51回全国野生生物保護実績発表大会

環境省との共催により全国の小・中・高校・団体の活動実績及び発表を審査、表彰する。

5. 組織、運営の拡充に関する活動及び事業

(1) 機関誌「私たちの自然」

発行回数：年6回

発行部数：3,200部

配付先：会員、愛鳥モデル校、自然保護団体、都道府県自然環境担当部局及び教育委員会等。また、広報活動の一環として各種行事（野鳥保護のつどい、ジャパンバードフェスティバル等）において無料配布。

(2) 支部報

神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県及び茨城県の各支部において、支部報「ふれんどりー」「らいちょう」「朱鷺」「連盟通信」「うぐいす」「かわせみ便り」をそれぞれ発行し、地域の愛鳥思想の普及啓発を推進する。

(3) ホームページ・連盟案内

機関誌と並ぶ情報発信ツールとして活用し、会員獲得と一般の方々へのアピールにつなげていく。

(4) 活動PR

我孫子市での「ジャパンバードフェスティバル」などのイベントに参画し、連盟活動のPR及び愛鳥思想の普及啓発を行う。